

農委業務について意見交換

第4回業務推進検討会

適化推進指針の策定及び集落座談会等開

大阪府農業委員会職員協議会(会長・碓本柏原市農委事務局長)は12月11日、大阪市内・JAバンク大阪信連事務センターで平成29年度第4回農地法等業務推進検討会を開いた。

この他、常設審議委員会資料の取り扱い、意見聴取案件の事例検討、今年度の検討会のとりまとめ、来年度の検討会の進め

全国農委会長代表者集会

農地利用最適化に向け決議

全国農業会議所は11月30日、東京都・メルパルクホールで全国農業委員会会長代表者集会を開催。大阪府からは各地区農委連合会会長、農業会議役員など11人が参加した。

第2部では、「農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請決議」が採択された。

集会は、1部と2部に分かれ、第1部では、「農地利用の最適化に全力をあげよう」と題したパネルディスカッションが開かれた。全国農業会議所の伊藤事務局長の進行の下、岩手県岩手町農委の松本会長、茨城県茨城町農委の箭原会長、千葉県香取市農委の伊藤会長、兵庫県南あわじ市農委の竹田会長が、農地利用の最適化に向けた各々の取り組みについて報告。

要請決議では、代表者集会の要請決議について、大阪選出国議員等に対して要請した。(中島)

各地で農委研修

藤井寺では農政懇談会開催

11月から12月にかけて各地で農委研修が開かれた。概要は次のとおり(①開催日、②開催場所、③農業会議事務局出席者)。

- 吹田市農委(吉田俊之会長)
- ①11月27日、②吹田市役所、③北川次長兼総務課長兼農政課長
- 貝塚市農委(永橋啓一会長)

第21回常設審議委員会

大阪府農業会議は12月18日、大阪市内・JAバンク大阪信連事務センターで第21回常設審議委員会を開いた。

第4条	7	4033
第5条	12	9521

合計 19 1万3554
(農地区別件数は、3種農地5件、2種農地12件、農用地区域内農地2件)

伝統野菜で地域を活性化

河南町・道の駅「かなん」

週末ともなるとお客さんでごった返す道の駅「かなん」。近場で採れた新鮮な野菜をはじめ、車で朝早くから地元材料で作るパンや餅など、地場産にこだわる。地域の農家が栽培した野菜が並ぶ中に、「なにわの伝統野菜」も含まれる。

伝統野菜は生産者で構成する生産部会で種子などを厳格に管理して栽培。石原佑也駅長は「復活した伝統野菜を地域の力で守っていききたい」と話し、「調理レシピ本」づくりなど工夫を続ける。

その伝統野菜復活の始まりがこの河南町といわれる。作られなくなっていた毛馬胡瓜のタネを蒔き、栽培を再開させたのが始まり。

駅は現在リニューアル工事中で来春の完成が待たれる。(東)

その後、勝間(こつま)南瓜や田辺ダイコンなど品種を増やし、現在この河南町では「なにわの伝統野菜18種のうち10種が作られており、府内最大の作付け面積を持つ。収穫量が少なく形が不揃いなため流通に乗せるのが難しい伝統野菜も、地産地消の道の駅なら商品として



売り場には「なにわの伝統野菜」も並び